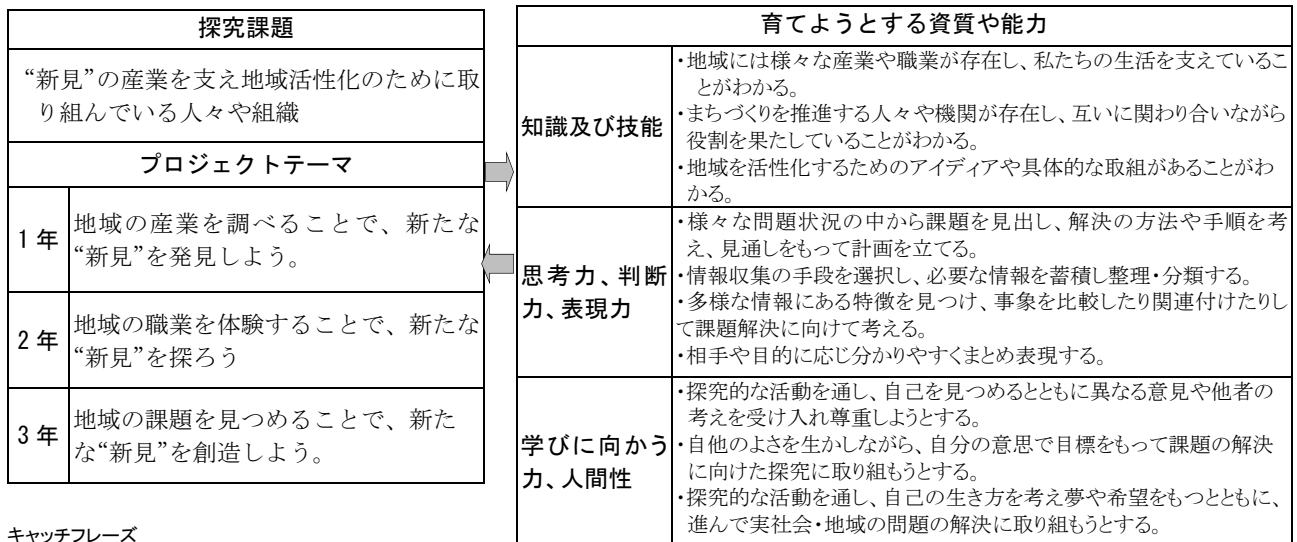
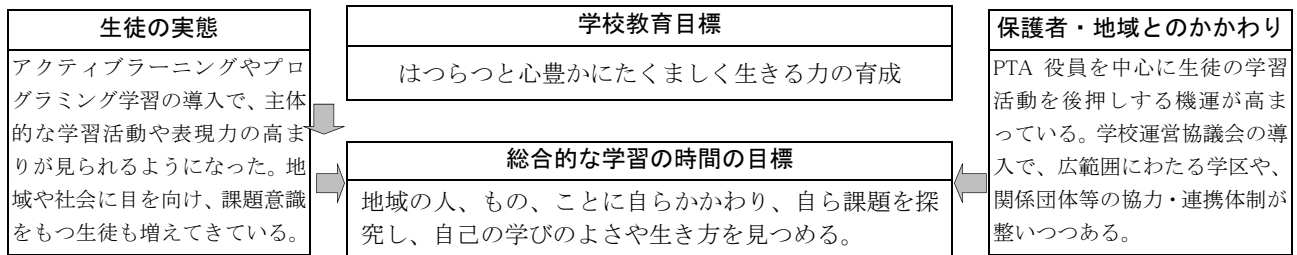


令和3年度 総合的な学習の時間 全体計画



キャッチフレーズ

「ふるさと再発見 新たな新見 みらいづくり」

学習活動		
1年（50時間）	2年（70時間）	3年（70時間）
【新見発見プロジェクト】20 新見の産業について調査活動や調べ学習を行い、地域への関心を深める。 ※学級単位で関連施設への訪問学習を実施する。（例：石灰、特産品、市役所等） 【選択型プロジェクト】16 新見発見プロジェクトと関連づけ、課題解決に向けて自らできることを主体的に行う。 【プログラミングプロジェクト】6 選択型プロジェクトと関連づけたプログラミングの基礎を学ぶ。 【キャリアアッププロジェクト】8 様々な職業を探ることを通して、自己の夢や適性と進路との関係を考える。	【新見体験プロジェクト】34 職業体験学習を企画・実施・評価し、地域に貢献する態度を養う。 ※生徒の希望のもとに小グループ単位で関連施設への体験学習（2日間）を行う。 【選択型プロジェクト】14 新見体験プロジェクトと関連づけ、課題解決に向けて自らできることを主体的に行う。 ※他校との交流でふるさとのPRをさせるなど、主体的に発信活動ができるような仕掛けをする。 【平和追求プロジェクト】12 広島平和学習を通して過去の歴史を振り返り、持続可能な社会への意識を深める。 【キャリアアッププロジェクト】10 様々な上級学校を探ることを通して、自己の夢や適性と進路との関係を考える。	【新見貢献プロジェクト】18 自ら地域に貢献できることを企画・実施し、社会参画に向けた実践力を養う。 （ボランティア、広報活動等） 【選択型プロジェクト】18 地域の課題を探り、“新見”活性化に向けての提言を主体的に行なう。 【異文化体験プロジェクト】12 修学旅行での民泊体験を通し、異なる地域文化を学び互いの良さを探る。 【キャリアアッププロジェクト】22 自己との対話や他者理解を通して進路との関係を具体化し、将来の自分を創造する。

指導方法	指導体制	学習評価
・生徒の課題意識を連続発展させる支援を行う。 ・意図的に編成したチームでの協働的な学習を充実させる。 ・体験活動や言語活動を重視し、ICTを効果的に利活用させる。	・学年団を中心とした指導体制を組織する。 ・校内担当者と学校運営協議会とが連絡を取り合い、外部組織との連絡調整と支援体制を確立する。 ・新見みらいづくり会議実行委員会やロータリークラブ、官公庁などの外部組織の人材を有効活用する。	・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・自己評価、相互評価を行う。
		評価の観点 ○ 課題設定の力 ○ 情報収集の力 ○ 将来展望の力 ○ 社会参画の力

令和3年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第1学年

テーマ		“ふるさと新見”を探り活性化につなげよう ～調査活動を通し新見の産業を知る～			
	時数	新見発見 プロジェクト(20)	選択型 プロジェクト(16)	プログラミング プロジェクト(6)	キャリアアップ プロジェクト(8)
4月	1	①オリエンテーション ②産業とは ③産業と働く人 ④情報収集 ※小学校での必修内容を踏まえて指導 ・千屋牛 ・石灰 ・ピオーネ ・新見庄 ⑤調査活動 (地域訪問学習) ⑥整理・分析 ⑦まとめ		①オリエンテーション ②基礎講座 プログラミング学習の進め方 基礎講座を行った後は、各プロジェクト学習の中で必要に応じて実践的に実施する。指導は情報教育担当者と担任がITで実施する。	
	2				
5月	3				
	4				
	5				
	6				
6月	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
7月	17				
	18				
	19				
	20				
9月	21				
	22				
	23				
	24				
10月	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	31				
11月	32				
	33				
	34				
	35				
	36				
	37				
	38				
12月	39				
	40				
	41				
1月	42				
	43				
	44				
	45				
2月	46				
	47				
	48				
	49				
	50				

令和3年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第2学年

テーマ		“ふるさと新見”を探り活性化につなげよう ～体験活動を通し新見の産業を探る～									
	時数	新見体験 プロジェクト(34)	選択型 プロジェクト(14)	平和追求 プロジェクト(12)	キャリアアップ プロジェクト(10)						
4月	1 2 3 4	①オリエンテーション ②課題設定・チーム編成 ③計画立案	④情報収集	①事前調査 ②課題設定 ③体験学習 (広島平和学習) ④まとめ ⑤振り返り							
5月	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17										
6月	18 19 20 21 22 23 24 25										
7月	26 27 28 29 30										
9月	31 32 33 34					①働く意義とは ②自己の適性 ③地域の職業 ④体験準備 ⑤職業体験 (2日間) ⑥まとめ					
10月	35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52										
11月	53 54 55 56 57 58 59 60 61 62										
2月	63 64 65 66 67 68 69								⑩発信活動 他地域の学校への新見PRなど		①自己を見つめる ②将来を見つめる ③進路情報の収集 ④まとめ
3月	70										

令和3年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第3学年

テーマ		“ふるさと新見”を探り活性化につなげよう ～地域の課題を探り活性化のための提言をする～			
	時数	新見貢献 プロジェクト(16)	選択型 プロジェクト(18)	異文化体験 プロジェクト(12)	キャリアアップ プロジェクト(18)
4月	1		①オリエンテーション		
	2		②課題設定・チーム編成		
	3		③計画立案	①事前調査	
5月	4			②課題設定	
	5		④情報収集		
	6		⑤調査活動		
	7		市への聴き取り調査		
	8		⑥整理・分析		
	9		⑦まとめ	③民泊体験学習 (修学旅行)	
	10		⑧表現	④まとめ	
	11		新見観光大使として民 泊先で発表など	⑤振り返り	
6月	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21		⑨成果発表会		
	22		⑩発信活動		
	23		(前年度の成果を 踏まえての新見市 への提言など)		
7月	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	31				
8月	32				
9月	33		新見市からの返答 に対する考察な ど		
	34				
	35				
	36				
10月	37				
	38				
	39				
	40				
	41				
	42				
	43				
11月	44				
	45	①社会貢献活動とは			①自己をみつめる
	46	②自分たちができる こと			②他者をみつめる
	47	③計画			③将来をみつめる
	48	④準備			④キャリアアップ 講座
	49	⑤地域貢献活動			
12月	50	⑥まとめ			
	51	⑦振り返り			
	52				
	53				
	54				
	55				
	56				
1月	57				
	58				
	59				
	60				
	61				
	62				
2月	63				
	64				
	65				
	66				
	67				
	68				
	69				
3月	70				

発信活動については時期・プロジェクトの変更は可能

総合的な学習の時間 プロジェクト学習の進め方

～共通の目的の達成に向けた協同学習チームによる活動～

○プロジェクト学習の目的

- ①調査活動（昨年の研究結果）、体験活動、制作活動を中心に学習を進める。
- ②企画・運営・評価を主体的、協同的に進める。
- ③目的意識や問題意識に関わる自分の思いを実現する。
- ④社会活動によって作品や研究報告書を活かす実践活動をする。
- ⑤汎用的能力を、体験を通して身につける。
- ⑥R-PDCA サイクルに沿って活動を積み上げる。

○学習の流れ

全学年共通 選択型プロジェクト（原則4名でチームを編成）			
	主体的な学び	協同的な学び	深い学び
R	課題決定に意見を出す	課題を協働で決める	視点を工夫する
	先行研究の調査、簡単な調査、学習課題の決定を行い、自分たちの学習でどのような学びをすればよいのかについて大きな見通しをもつ。		
P	具体的な目標決定	協力して計画を立てる	計画書を作る
	インターネットでなどを活用（または体験や訪問など）して簡単な調査を行い、学習したいことを、ウェブマップを使って書き出す。そして、目標をチームで共有化する。（活動の展開によっては目標を修正していく）		
D	積極的に活動に取り組む	協同で課題を解決する	アイデアを表現する
	調査研究、実践交流、体験活動を行い、プレゼンテーション資料を作成し、発信する。（インタビュー、アンケート、写真、動画など資料の収集）		
C	プロジェクト評価（自己）	相互評価（成果と課題）	評価レポートの作成
	自己評価、相互評価、プロジェクト評価を行う。（ポートフォリオ形式で保存）プロジェクトそのものを振り返り成果と課題にまとめる。		
A	改善案を作成	分担して報告書の作成	今後の課題を見いだす
	改善案の作成・実行、学習の振り返りを行い、実施段階でうまくいかなかった活動の改善案を作成し、次年度につなげる。		

○必修型プロジェクト学習（短期活動）

- ・新見発見プロジェクト～調査活動を通して新見の産業を知ろう～ 1年
- ・新見体験プロジェクト～職業体験を通して新見を探ろう～ 2年
- ・平和追求プロジェクト～平和学習を通して持続可能な社会を考えよう～ 2年
- ・新見貢献プロジェクト～自ら地域に貢献できることを実践しよう～ 3年
- ・異文化体験プロジェクト～異なる地域文化の良さを探ろう～ 3年
- ・プログラミングプロジェクト～課題解決に向けて活かそう～ 全学年
- ・キャリアアッププロジェクト～将来の自分を創造しよう～ 全学年